



2026 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 オ ー ナ ン バ 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 木 嶋 忠 敏
(コード番号 5816 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役管理統括部長 宮 本 敦 浩
(TEL. 06-7639-5500)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月13日付で公表しておりました中期経営計画PROGRESS2026（2024～2026年度計画）における最終年度である2026年度の計画につきまして、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、この修正後の数字は、本日発表の決算短信における2026年12月期の業績予想と一致しております。

記

1. 中期経営計画（2024～2026 年度計画）最終年度経営目標の修正について

経営指標（目標）

	2026年度 (当初計画)	2026年度 (修正計画)
売上高（億円）	500	470
営業利益（億円）	35	27
営業利益率（%）	7.0	5.7
ROE（%）	10.0	7.0
配当性向	30%以上	44.9%
1株当たり配当	70円	70円

<経営目標の修正理由>

足元の市況は回復基調も、当初中期計画策定時の予測からは世界的な景気回復の遅れにより、需要が伸び悩みました。欧州における補助金終了による空調関連需要の大幅な減少、産業機器等の国内外の在庫調整の影響とコスト競争の激化などが主要因となっております。特に、中期経営計画の大きな取り組みの一つであった産業機器向け高付加価値電線の販売においても影響を受けることになりました。その結果、本製品の製造を目的とした電線新工場の投資は計画通り完了しましたが、生産開始の遅れ及び2026年の減販を余儀なくされることが見込まれております。これらを踏まえ、上記のとおり修正いたします。

なお、配当金の見込みにつきましては、利益は減少いたしますが当初目標どおり70円/株といたします。

＜今後の展望＞

ワイヤーハーネスは産業機器市場を中心に回復が見込まれております。環境関連事業では、系統用蓄電所監視・制御システムの需要が更に拡大いたします。また、電線事業では、A I ・半導体需要の増加で拡大するデータセンター市場での開発活動を展開しております。それに伴い、電線新工場を活用しデータセンター向け製品の本格生産を 2026 年に開始いたします。データセンター市場は、日本においても市場規模は年平均約 10%で成長すると予測されております。

2026 年度はこれらの取り組みにより前年から増収増益を計画し事業を推進いたします。

以 上